

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 11 月 26 日 (2015.11.26)

【公開番号】特開 2014-86806 (P2014-86806A)

【公開日】平成 26 年 5 月 12 日 (2014.5.12)

【年通号数】公開・登録公報 2014-024

【出願番号】特願 2012-233009 (P2012-233009)

【国際特許分類】

H 0 4 R 1/00 (2006.01)

H 0 4 M 1/03 (2006.01)

H 0 4 R 1/10 (2006.01)

H 0 4 R 17/00 (2006.01)

H 0 4 R 3/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 R 1/00 3 1 7

H 0 4 M 1/03 C

H 0 4 R 1/10 1 0 1 Z

H 0 4 R 17/00

H 0 4 R 3/00 3 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 10 月 7 日 (2015.10.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

軟骨伝導部のための音源部と、前記音源部からの音信号の大小変化に応じ、前記軟骨伝導部が発生する軟骨伝導成分と直接気導成分の混在比率を変化させる周波数特性変更部とを有することを特徴とする音信号出力装置。

【請求項 2】

前記周波数特性変更部は、前記音源部からの音信号が小さくなると直接気導成分に対する軟骨伝導成分の混在比率を相対的に増加させることを特徴とする請求項 1 記載の音信号出力装置。

【請求項 3】

前記周波数特性変更部は、音信号の時間的大小変化に応じて前記軟骨伝導部が発生する軟骨伝導成分と直接気導成分の混在比率を変化させることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の音信号出力装置。

【請求項 4】

前記周波数特性変更部は、音信号の平均的な大小に応じて前記軟骨伝導部が発生する軟骨伝導成分と直接気導成分の混在比率を変化させることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載の音信号出力装置。

【請求項 5】

信号送信部を有し、前記周波数特性変更部の出力を前記信号送信部から外部の軟骨伝導部に送信することを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれかに記載の音信号出力装置。

【請求項 6】

携帯電話として構成されるとともに、前記外部の軟骨伝導部は携帯電話のための聴取装

置であることを特徴とする請求項 5 記載の音信号出力装置。

【請求項 7】

携帯音楽プレーヤーとして構成されるとともに、前記外部の軟骨伝導部は携帯音楽プレーヤーのための聴取装置であることを特徴とする請求項 5 記載の音信号出力装置。

【請求項 8】

軟骨伝導部のための音声通話音源部と、前記軟骨伝導部のための楽曲音源部と、前記音声通話音源部からの音信号と前記楽曲音源部からの音信号とで前記軟骨伝導部が発生する軟骨伝導成分と直接気導成分の混在比率を変化させる周波数特性変更部とを有することを特徴とする音信号出力装置。

【請求項 9】

前記周波数特性変更部は、前記音声通話音源部からの音信号よりも前記楽曲音源部からの音信号において軟骨伝導成分に対する直接気導成分の混在比率を相対的に増加させることを特徴とする請求項 8 記載の音信号出力装置。